

## どうする 婚活?! 結婚のホンネ

未婚、晩婚、非婚、否婚、とにかく、結婚しない人が増えているのだそうだ。昨年、結婚に至るには、結婚のための活動「婚活」が必要だと力説した本が話題になった。婚活と一言でいっても、従来の「お若い二人」のお見合いだけではなく、娘や息子の写真片手に親同士がする「代理見合い」から「熟年見合い」まで登場する時代。今号では、結婚の現在を特集した。



### 「婚活」という言葉が認知され、何歳からでも婚活しやすい空気は生まれたが

とくに男性の生涯未婚率\*1は高くなり続け、1980年に2.6%だったのが20年後には、約5倍の12.57%になっている。また、いわゆる結婚適齢期といわれる25～29歳の女性54%、30～34歳の男性42.9%は未婚である。18～39歳の未婚者に結婚に対する考えを聞いたところ、「いずれ結婚するつもり」と答えた人の割合は、女性94.3%、男性93.9%。「一生結婚するつもりはない」と答えた「否婚」の人は男女とも約6%である。決して結婚をしたくない、わけではないことがわかる。

24%\*3。また、過去3年間に結婚した男性を所得別にみると、年収100万円以下8%、400万～500万円21%。不安定雇用、低所得の男性にとって結婚は難しい状況であることがわかる。

一方結婚した女性は、非正規25%、正規28%と大きな差はなかった。が、過去5年間に出産した人は、非正規22%、正規43%と、大きな差が出ている。

### 挙式・披露宴費用 平均303.1万円なり\*4

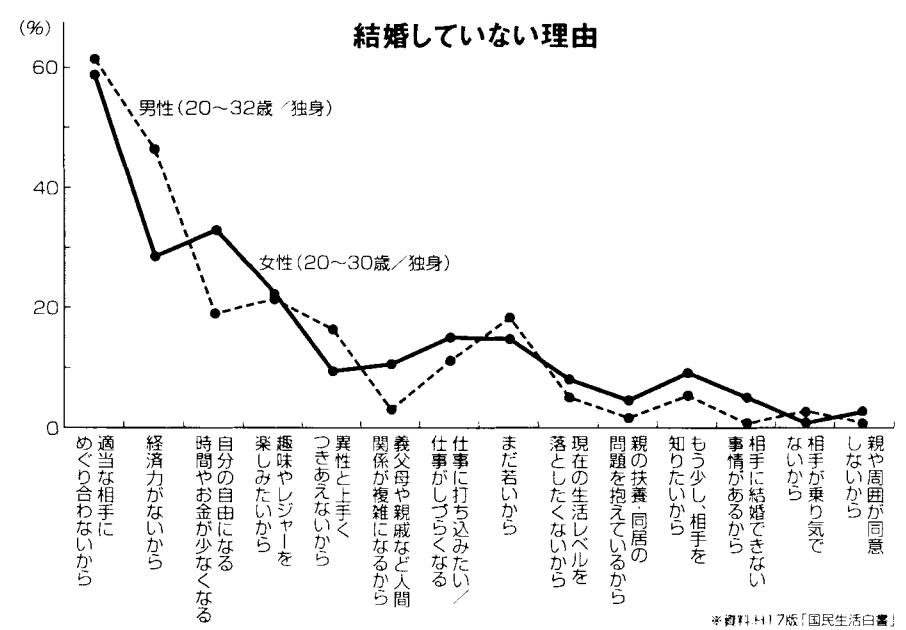
ラッキーなことに“適当な相手”にめぐり合い、結婚に至ったとして、平均的な結婚にかかる費用は、挙式・披露宴以外に、婚

約に100万円、新婚旅行に50～80万円、新生活準備に200万～300万円…。

そして数十年。夫のリタイア後、夫婦の時間が増えることに「うれしい」妻27%、夫48%。「うれしくない」妻32%、夫16%。「生まれ変わっても今の相手と結婚したい」妻26%、夫41%\*5。

「結婚しても、しなくても、どのみち君は後悔することになる」と言ったのは、古代ギリシャの哲学者ソクラテス…。さて、どうする結婚?!

- \*1 生涯未婚率：45～49歳と50～54歳未婚率の平均値、50歳時の未婚率
- \*2 H17版「国民生活白書」
- \*3 「生活に関する継続調査」03年 厚生労働省
- \*4 2006年
- \*5 生保各社でつくる「MDRT日本会」調査



### 性別による役割が 結婚の障壁になっている

「結婚していない理由」(グラフ参照)は、「適当な相手にめぐり合わないから」が男女ともに最も高く6割を占めている。

2番目の理由として、女性は「自分の自由になる時間やお金が少なくなるから」、男性は「経済力がないから」があがっている。結婚したら、女性は「自分のことより家庭を優先に」、男性は「家族を養う収入を得なければ」といった従来通りの価値観が障壁になっている。

### 非正規、正規で 大きな差が出る。結婚、出産

過去5年間に結婚した25～39歳の男性は、非正規雇用12%に対し、正規雇用は

## あなたの町の頑張りウーマン NO.2 介護は、出口の見えない長いトンネル…。でも、みんなで手をつなぎ合えば 明るく乗り越えられる!



宝塚市介護者家族の会「かなえの会」の中心メンバーとして、長年支えてこられた大野貞子さんは、笑顔のヒッサツよろず引受人! いつまでも変わらないパワーの源は何でしょうか。

Q 大野さんが「かなえの会」に入会されたきっかけは何ですか

大 姑が多発性脳梗塞で倒れて、介護する立場になったのがきっかけです。1988年、社会福祉協議会の介護教室に参加したとき、結成後間もない「かなえの会」を知り入会しました。当時の会長から「介護中の人の生の声を反映したい」と言われて、副会長をさせていただき、その後会長を数年間勤めました。7年余りの介護を終え、今は、皆さんのよろず相談事や支援活動を引き受けたり、後進の人たちに会の主旨や経験談を伝えていく役目を頑張っています。

Q よろず相談事は、どのようなものが多いのですか

大 日常生活の相談から、介護保険の申請の仕方や福祉制度に関すること、介護者が抱えている日頃の悩みやグチなど、内容は千差万別です。先日、「紙オムツを嫌がるお年寄りの下着をいくら洗っても臭くて困る」という相談がありました。「臭い下着は捨てて、全部新しい物に取り替えたらどうですか」と言ったところ、「そうですね。気持ちが軽くなりました」と喜ばれました。介護者は懸命に介護してい

るうちに、一つの考えに捕らわれて落ち込みがちですが、ちょっとした一言で吹っ切れることがよくあります。会員参加のバスツアーのときは、私の隣の席を一つ空けておき、誰でも自由に座って話ができるように心掛けています。

Q 婦人生活社発行の雑誌「やさしい手」1996年春号に、「かなえの会」の記事が掲載されたそうですが

大 丁度、阪神大震災の翌年1996年の「一年おくれの新年会」の日に雑誌社の取材を受けました。地震直後の助け合いがスムーズに行われたのは、「かなえの会」が困っているお年寄りなら誰でも受け入れ、介護者も支援者もみんな平等であり、「随時必要とされることを行う」というおらかな考え方が良い成果を生んだのだと嬉しい評価をもらいました。

介護者は、おおらかさが大切。たまには骨休めをして自分の健康のことを一番に考えてほしい。デイサービスやショートステイを上手に利用して、リフレッシュする自由な時間を取り戻してください。そうでなければ、良い介護はできません。

Q 「在宅介護を支え合う地域づくり」に取り組もうとしている人たちに、アドバイ

スをお願いします

大 あまりむずかしく考えないで、いい意味でのおせっかいの集まりを作ることだと思います。何事も一人で抱え込まないで、みんなで助け合って楽に介護しようということです。要介護者にもいろいろなケースがありますが、体面をはばかって家の中に閉じ込めないで、気軽に相談してほしいですね。男性の介護者も同様です。

「できる人が、できるときに、できることをする」これは私のモットーですが、決して無理をしない、押しつけないという考え方が支援活動を長く地域に定着させる秘訣だと思いますね。「かなえの会」では、すでに介護を終えた35人の会員が、明日は我が身という思いで支援活動を続けています。

Q これからの夢はなんですか

大 「かなえの会」の活動以外に、老人が何時でも自由に集える「遊び場」と、子どもたちを集めて工作をしたり、そろばんを教えたりできる「子育て広場」を開きたいと思っています。

### —インタビューを終えて—

「何かあればすぐ駆けつけてくれる友だちがたくさんいるから、老後は何の心配もありません」と笑顔で明言する大野さん。人が好き、子どもが好き、そして夢があるからパワーも生まれるのです。近所に、大野さんのような方が居てくれたらと思わずにはいられないインタビューでした。

(かなえの会)  
1988年結成。「かなえ」は古代中国の三本足の鼎「鼎」から引用。介護者、支援者(地域)、福祉関係機関の三本柱で高齢者を支えようという趣旨。  
■主な活動  
1) 月一回の定例会と月刊誌「かなえ」の発行  
2) 夏冬の地域別ミニ集会  
3) 年一回の新年会、花見、料理教室、コンサート等  
4) 会員同志の交流は自由、必要に応じて助け合い交流会  
■会員数  
80人(内男性会員7人/介護者35人、要介護者10人、支援者35人)

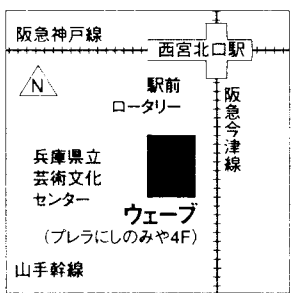
### 編集後記

ネットワーク委員としての2年間、色々ありましたが最終号では「劇団ひとり」になってしまいました。へっぽこ記者のインタビューに快く応じて下さった天野さん、大野さんには心より感謝しております。(ヤダッチ)

ネットワーク委員とは、西宮市男女共同参画センター ウェーブを拠点に市民参画の事業を推進することを目的に公募で選ばれた市民(任期2年)。現在の第4期委員は主に情報誌の編集・発行をしている。  
ウェーブ(WAVE)の意味:「男女がともに行動し、活気に満ちた平等社会をめざす」ことを意味する言葉(With/Act/Vitality/Equality)の頭文字と、男女共同参画社会の実現に向けて大きな波(うねり)をつくっていくこと、という思いがこめられています。

ウェーブは、男女共同参画社会の実現をめざす施設です。性別、年齢、国籍にかかわらず、ご利用いただけます。  
◎開館時間 1月4日～12月28日/9:00～22:00  
◎受付時間 月～土曜日(年末年始、休日除く)/9:00～17:15

WAVE PRESS Vol.7  
●発行日 2009年3月31日  
●編集・発行 西宮市男女共同参画センター ウェーブネットワーク委員会 〒663-8204 西宮市高松町4番8号 プレラにしのみや4階  
Tel. 0798-64-9495  
Fax 0798-64-9496



http://www.nishi.or.jp/homepage/wave/

